

パラフレーズ練習の進め方

(1) パラフレーズのポイント

①指導者が自身のパラフレーズ力を鍛える

- 日常的に生徒にとって分かりやすい表現を使用し、常に生徒のモデルになる。
- 安易に日本語を使わない。
- 生徒たちの発信内容を拾い上げ、生徒が発した言葉を簡単な表現に言い換えるなどしながら、発問に対する生徒の答えを繰り返す。

②生徒に伝えるポイント

(オリエンテーション用のPPT 例)

パラフレーズ (paraphrase)
= 違う言葉で言い換える

①直訳にこだわらず、映像化してみる
 ②完ぺきにこだわらない
 ③抽象的な表現をやめて、視点を変え具体化する
 ④相手に対してわかりやすいことばを使う

- 「僕はカナヅチだ」 = I am ~~a~~ hummer.
- 「昨日は**しぶしぶ**部活に行った」
= I didn't want to go to the club activity, but ...

パラフレーズするときの
4つのポイント

直訳をせず、映像化

抽象的な表現を使わない

(2) 使用する教材

①現学年の教科書

- 教科書本文の中で、既習表現を使ってパラフレーズできる表現を選ぶ。

例) 2年生教科書

<G8 Unit 4 part 1> p.54

- You are a member of the family.
- You have to follow the family's rules.
- You have to speak English here.
- But you don't have to speak perfect English.

➡

class: __ no: __ name: __

	Japanese	English	
①	手を挙げている人がたくさんいる。	たくさんの人がいい考えだと思っている。	Friend's idea
	Many people are raising their hands.	Many people think that it's a good idea.	
	多くの人が「はい。」と言っている。	賛成多数 それについてはみんなオッケーだ。	
	Many people say "Yes."	We are all OK about that.	
②			Friend's idea

成果物参照

- ペア or グループワーク→クラス全体で共有して表現の幅を広げる。

- You are a member of the family.
→You are not a guest.
- You have to follow the family's rules.
→Please follow the family's rules.
- You have to speak English here.
→Don't speak Japanese here.
- But you don't have to speak perfect English.
→You don't need to speak perfect English.

赤字がクラスで共有した際に出てきたパラフレーズ文

②旧学年の教科書

- ・旧学年の教科書の表現を、今の学年の英語力でパラフレーズする。

例) 1年生の教科書の表現: Unit 11 (p. 116)

On New Year's Eve, we visited a shrine early in the morning.

We prayed for a good year.

↓

We visited a shrine early in the morning to pray for New Year's good luck.

2年生で不定詞を使って一文にパラフレーズ

(3) ワークシート

※成果物参照

(4) 注意点

ある授業的一幕:

生徒A「先生、自己紹介で虫が嫌いって言いたいんですけど、嫌いってなんて言いますか？」

指導者「パラフレーズしてみたら？他の人ならどう表現しますか？」

生徒B「I don't like でいいんじゃない？」

生徒A「あ、そうか！じゃあ、虫は？」

指導者「パラフレーズしてみたら？」

生徒B「flying small animal ではダメかなあ…？」

このように、やみくもにパラフレーズさせるのではなく、この場合は、虫=insects と教えた方がよいと考えます。名詞についてはパラフレーズになじまないものも多くあり、どの表現をパラフレーズさせるのかの視点をもっておく必要があります。

パラフレーズ練習において下記の点を念頭に置いて指導することが大切です。

- ①伝えるための表現は一つではないこと
- ②相手の反応を見て、伝わっていないと思ったらまた違う表現を考えること
- ③コミュニケーションの目的は「正確な英語を話す」ことではなく、「言いたいことを相手に伝える」ということであり、その際にパラフレーズ力は役に立つこと
- ④生徒は和英辞典やインターネット検索を大いに活用すべきであり、そこで得た情報は自分の知識にはなるが、それをそのまま使用しても他の生徒には伝わらないこと

(5) パラフレーズ練習の指導の詳細

→平成29年度研究論文参照

「生徒が主体的にコミュニケーション能力を高めようとする授業の創造

～領域統合型の授業設計と学びへ向かう評価の在り方～」